

令和2年度福島県歴史資料館収蔵資料展
只見線復旧応援

奥会津の古文書

— 只見町を中心に —



公益財団法人
福島県文化振興財団

令和
2年

4月18日(土) ▼ 7月5日(日)

福島県歴史資料館展示室 (とうほう・みんなの文化センター内)

〔開館時間〕 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

〔休館日〕 4月20日(月)、5月11日(月)・18日(月)、6月8日(月)・29日(月)

〔展示解説会〕 6月28日(日)

(担当者が午後1時より解説します)

入館無料

〔主催〕 公益財団法人福島県文化振興財団

福島県歴史資料館収蔵資料展
只見線復旧応援

奥会津の古文書

―只見町を中心に―

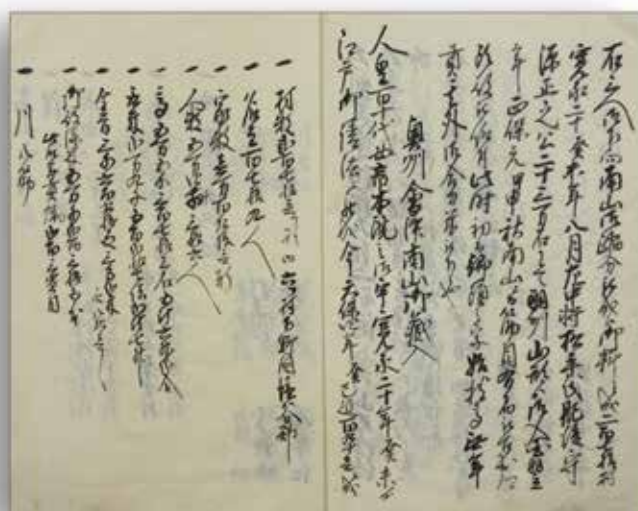


三石神社

只見線の復旧復興を応援するため、奥会津にゆかりのある古文書をシリーズで取り上げる第4回目の展示です。今回は、只見町の古文書を取り上げます。

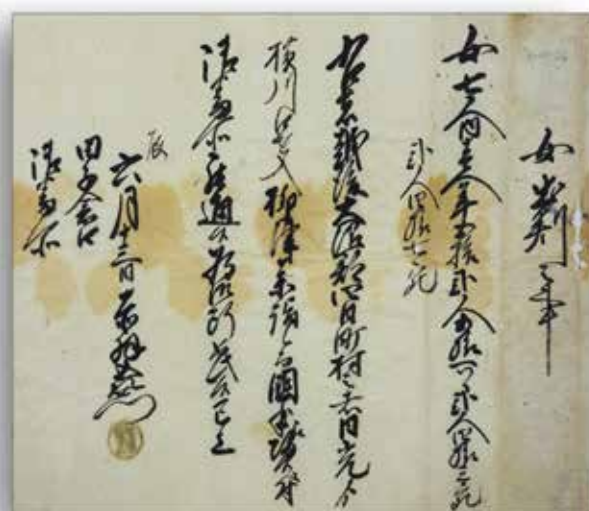
只見町は、福島県の西南部に位置し、只見川や伊南川、ブナ林などの自然に恵まれた地域です。

本展示では、江戸・明治時代の只見町域について、その歴史や文化、人々の暮らしを紹介します。



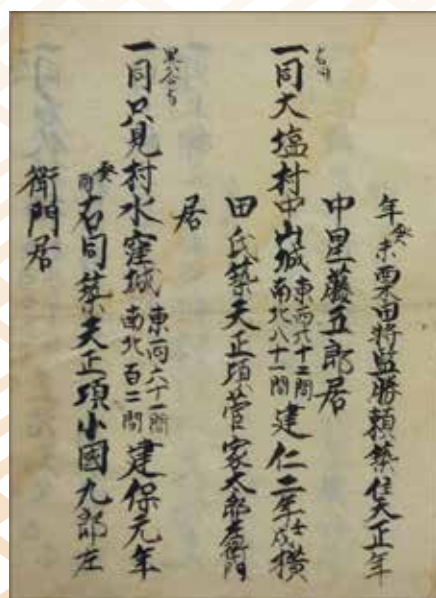
会津御蔵入始覚(目黒武男家文書1)

只見町域を含む南山御蔵入領の歴史を記した覚書です。この地域は、幕府の直轄領ですが、時期によっては会津藩の預り地とされることもありました。会津御蔵入騒動の舞台としても有名です。



女出判之事(皆川欣也家文書1135)

只見町域は越後国との境に位置するため、田子倉などに口留番所が置かれ、物資や人間の出入りが厳しく取り締まられました。番所を通る際には、証文(証明書)の提示が求められました。



館罫柵之覚 (部分、山内信男家文書1)

中世の只見町域周辺には、多くの城館が存在しました。なかでも、水窪城(水久保城とも)では、領主・山内氏勝が籠城し、伊達政宗を迎え撃ちました。

福島県歴史資料館
〒960-8116 福島県福島市春日町5-54
TEL 024-534-9193 FAX 024-534-9195
福島県歴史資料館 検索